

1.アメリカ合衆国

①( )1大統領(1913-1921)=民主党大統領  
 1919年10月( )2法公布=「合衆国憲法修正第18条」(ウィルソンは拒否権発動→議会は3分の2以上で再可決)  
 「人を酩酊させる酒精飲料の醸造、運搬、販売を禁じる」  
 →酒の密造、密売業者の暗躍→( )3 アル・カポネら  
 1920年1月 議会、ヴェルサイユ条約批准を( )4→「孤立主義」の台頭。  
 4月 対ソ干渉戦争から撤退。  
 5月 ( )5=バンゼッティ事件。イタリア系アナキストを証拠不十分のまま強盗殺人罪で逮捕 →27年8月処刑。後に無実が確定。  
 8月 憲法修正第19条⇒( )6参政権実現  
 第一次大戦中の女性の職場進出(製造業、ドライバー、技術者etc)

1921年11月 ワシントン会議(22年2月まで)→海軍軍縮

②続くハーディング(1921-23) クーリッジ(1923-29) フーヴァー(1929-33)=共和党大統領

1924年 「( )7制限法」成立(排日条項含む)  
 1927年 初の( )8映画「ジャズ・シンガー」 20年代 テレビ実験放送  
 1928年「パリ不戦条約」→仏外務大臣ブリアンと米国务長官( )9の努力。  
 ディズニー映画「蒸気船ウィリー」に[ ]10登場  
 ⇒「( )11の20年代」 内政--保守的傾向強まる。  
 【軍隊】 1917年5月 米議会、( )12制を初めて採用←4月6日参戦  
 →400万人が陸軍、50万人が海軍へ。50万人のアメリカ軍がフランスへ  
 ( )13→白人と別の隊を編成。鉄道車、飲料水も白人用・非白人用に分ける。

【「排日移民法」】「1924年移民法」日本人移民を全面的に( )14する。  
 ・20世紀初頭以来急激に増加した日本人移民→仕事が脅かされると、排日運動高まる。  
 →「( )15不能外国人」=英語会話を基準とする=の移民を禁止する建前。  
 ・他のアジア系移民は以前から禁止。北欧系移民のみを優先。南欧東欧からも制限。

【少数者への差別】  
 ・人種差別 秘密結社「[ ]16」=クー・クラックス・クラン  
 1865年 黒人迫害を目的に南北戦争時に結成。  
 1920年代から黒人のほか、ユダヤ人などへの反対を唱え急速に拡大。会員400万人。2006年には8000人。

WASP=「アメリカ生まれの白人で( )17がアメリカを支配すべき」

【人種をめぐる暴動】 1920年シカゴ、21年オマハでそれぞれ38人、30人の死者。

【自動車】  
 1900年 アメリカ全国で8000台  
 1908年 ( )18社 「Tモデル」自動車大量生産  
 1915年 250万台 20年 822万台 29年 2312万台

2.イギリス  
 自由党没落⇒「保守・( )19二大政党制」  
 外交=「ヨーロッパ大陸に( )20せず」  
 アジアアフリカの植民地は維持。独立運動と対立。

1916年 アイルランドでシン=フェイン党(1905-)などの反英蜂起=( )21蜂起❖a  
 ❖a--復活祭の日にパトリック・ピアース(1879~1916)、ジェームズ・コノリー(1868~1916)に率いられたアイルランド義勇軍・市民軍・女性連盟がダブリンを占領し独立を宣言。1週間の戦闘で英軍に鎮圧され、指導者16人は処刑された。その後独立運動が高揚。

失業増とロシア革命の影響⇒ストライキ、賃上げ要求。観光、鉄道、港湾、運輸。  
 ▮1918 第4次選挙法改正 ⇒21歳以上男子、( )23歳以上女子に参政権  
 ▮1920 [ ]24自治法成立  
 ▮1922 アイルランド自由国の独立を承認。(北アイルランド=( )25=を除き)  
 →49年アイルランド共和国

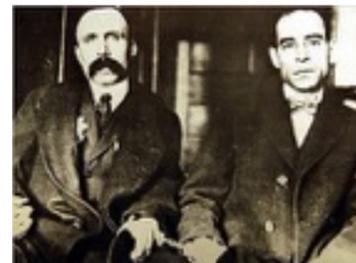
1924年 第一次( )26❖b労働党内閣  
 ・( )27を承認 ・産業国有化計画  
 ❖b--ラムゼイ・マクドナルド。1866~1937。第一次大戦には非戦論で労働党党首辞任。戦後英国初の労働党出身首相となる。

1924~29 保守党ボールドウィン内閣  
 ・保護関税 ・労働争議制限 ・( )28本位制復帰(1925)  
 1928年 第5次選挙法改正 ⇒( )29歳以上女性に参政権⇒普通選挙実現  
 1929年の選挙⇒労働党大量当選 287議席(保守216 自由59)

1929~31 第二次マクドナルド労働党内閣  
 ⇒世界経済( )30⇒失業増大⇒景気後退⇒失業問題で退陣、離党(除名)。

1931~35 マクドナルド連立内閣 →保守・自由党が与党。労働党多数派は野党。  
 ・( )31憲章制定--カナダ・オーストリア等とイギリス連邦形成  
 ・( )32経済追求--英連邦内の特惠関税体制(1932年オタワ連邦会議)  
 ・金本位制放棄→ポンド切り下げ⇒競争力 ・増税と儉約  
 ・34年( )33再軍備開始⇒ドイツに対抗

1935~37 ボールドウィン内閣  
 ・「( )34政策」⇒ナチスドイツをなだめる。交渉による戦争回避。  
 ・1935 英独( )35協定(戦艦1対0.35)



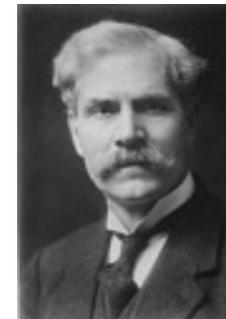
サッコとバンゼッティ



ピアース



コノリー



マクドナルド



アイルランド

- ・金 ・女性 ・空軍 ・海軍 ・否決 ・移民 ・帰化 ・黄金 ・関税 ・宥和 ・関与 ・恐慌 ・禁止
- ・徴兵 ・黒人 ・労働 ・禁酒 ・21 ・30 ・ソ連 ・新教徒 ・サッコ ・トーキー ・ブロック ・フォード
- ・ケロッグ ・マフィア ・イースター ・ウィルソン ・アルスター ・マクドナルド ・ウェストミンスター
- ・ロイド=ジョージ